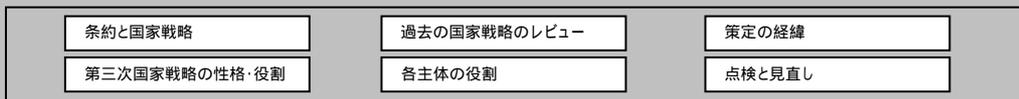


前文

【経緯・計画の役割】



第1部 戦略

第1章

【生物多様性の重要性】

地球上の生命の多様性 < 第1節 >



いのちと暮らしを支える生物多様性 < 第2節 >

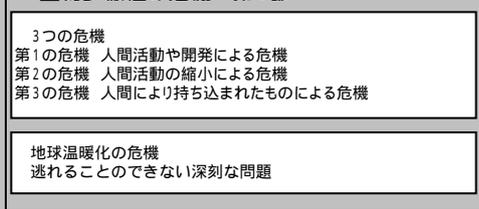
生きものがみだす大気と水・・・酸素の創出、水や栄養塩の循環、豊かな土壌、気温・湿度の調節
 暮らしの基礎・・・食べもの、木材、医薬品、品種改良、バイオミミクリー
 生きものと文化の多様性・・・自然と共生してきた知恵と伝統、地域性豊かな風土
 自然に守られる私たちの暮らし・災害の被害の軽減、効率的な安全確保、安全な食べもの

生物多様性の保全及び持続可能な利用の理念 < 第3節 >

すべての生命が存する基盤を整える・・・現在及び将来のすべての生命に欠かすことのできない基盤
 人間にとって有用な価値を持つ・・・現在及び将来の豊かな暮らしにつながる有用な価値
 豊かな文化の根源となる・・・精神の基盤、地域性豊かな文化の根源
 将来にわたる暮らしの安全性を保障する・・・世代を超えた効率性・安全性の保証

第2章 【問題意識】

生物多様性の危機 < 第1節 >



地球温暖化と生物多様性 < 第2節 >

生物多様性への影響、人間生活への影響、緩和と影響への適応

3つの危機の背景 < 第3節 >

戦後50年の急激な開発、里地里山地域の人口減少と資源利用の変化、経済・社会のグローバル化

生物多様性の現状 < 第4節 >

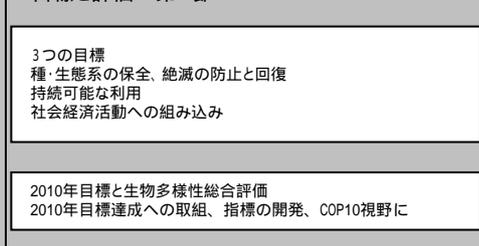
世界と日本の生物多様性、世界とつながる日本の生物多様性

生物多様性の保全の状況 < 第5節 >

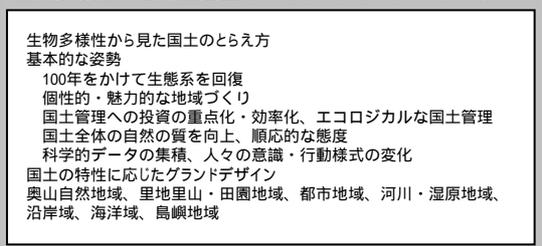
法制度、保護地域の概要、地方公共団体・企業・NGOなどによる取組

第3章 【目標】

目標と評価 < 第1節 >

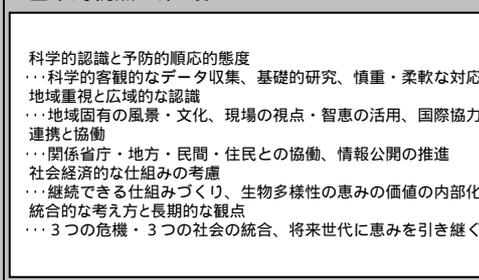


生物多様性から見た国土のグランドデザイン < 第2節 >

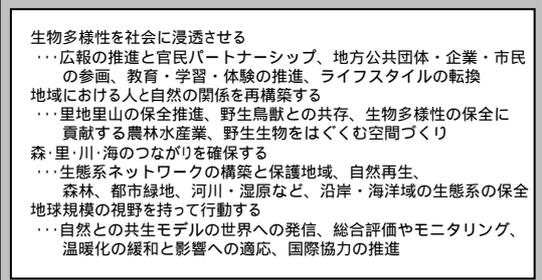


第4章 【基本方針】

基本的視点 < 第1節 >



基本戦略 < 第2節 >



第2部 行動計画

第1章 【国土空間的施策】

広域連携施策



地域空間施策



第2章 【横断的・基盤的施策】

